

平成 30 年度水稻の生育状況(7 月 10 日調査 速報)

中央農業改良普及センター 地域普及グループ

- 1 移植後、6 月第 2 半旬～第 4 半旬までは気温・日照時間とも平年を下回り、6 月第 5 半旬は気温・日照時間とも平年を上回っていた。しかし、7 月第 2 半旬には日照時間は県全域で平年を下回り、気温は北部及び沿岸部において平年を下回った。(図 1)
- 2 県全体の生育は、草丈 59.3 cm で平年より 2.3cm 長く、茎数は 537 本/m<sup>2</sup> で平年より少なく(平年比 93%)、葉数は 10.1 葉で平年並である(平年差-0.1 葉)。茎数は平年より少ないものの目標茎数は概ね確保している。(表 1、2)
- 3 県内の生育は、6 月第 2 半旬～第 4 半旬までの低温少照および 7 月第 2 半旬の日照不足などの影響により、移植時期や栽培方法による圃場ごとの生育差が大きいようである。目標茎数(20～30 本/株程度)を確保した圃場では中干しが行われているが、幼穂形成期までには終了すること。葉色の低下を確認したうえで、幼穂形成期を重点に窒素成分 1.0～2.0kg/10a を追肥すること。幼穂形成期は平年並の見込みである。
- 4 1 か月予報(平成 30 年 7 月 5 日発表, 仙台管区气象台)によると、暖かい空気に覆われやすく、向こう 1 か月の気温は高い見込みである。向こう 1 か月の平均気温は高い確率が 50%、降水量は平年並または多い確率がともに 40%、日照時間は平年より少ないまたは平年並の確率がともに 40%と予想されている。

表 1 平成 30 年生育診断ほの地域別集計表(7 月 10 日調査) 各農業改良普及センター調べ

地帯名	草丈			茎数			葉数		
	本年 (cm)	平年 (cm)	平年差 (cm)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	平年 (本/m <sup>2</sup> )	平年比 (%)	本年 (枚)	平年 (枚)	平年差 (枚)
北上川上流	56.9	54.6	2.3	503	631	80%	10.1	10.1	0.0
北上川下流	60.4	58.0	2.4	546	559	98%	10.2	10.3	-0.1
東 部	63.3	58.6	4.7	508	564	90%	10.1	9.9	0.2
北 部	55.0	55.0	0.0	584	614	95%	9.0	10.0	-1.0
全 県	59.3	57.0	2.3	537	580	93%	10.1	10.2	-0.1

注 1: 平年値は原則として平成 25～29 年までの 5 か年の平均値を用いた。

注 2: 表中の数値は端数処理を行っている。

表 2 平成 30 年生育診断ほの品種別集計表(7 月 10 日調査) 各農業改良普及センター調べ

品種名	草丈			茎数			葉数		
	本年 (cm)	平年 (cm)	平年差 (cm)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	平年 (本/m <sup>2</sup> )	平年比 (%)	本年 (枚)	平年 (枚)	平年差 (枚)
いわてっこ	54.8	53.3	1.5	523	616	85%	9.5	9.6	-0.1
あきたこまち	57.1	54.7	2.4	487	568	86%	10.2	10.0	0.2
銀河のしずく	67.0	-	-	485	-	-	10.2	-	-
どんぴしゃり	61.5	61.0	0.5	529	538	98%	10.2	10.3	-0.1
ひとめぼれ	62.6	59.7	2.9	564	592	95%	10.4	10.7	-0.3
金色の風	65.1	-	-	726	-	-	10.2	-	-

注 1: 平年値は原則として平成 25～29 年までの 5 か年の平均値を用いた。

注 2: 表中の数値は端数処理を行っている。

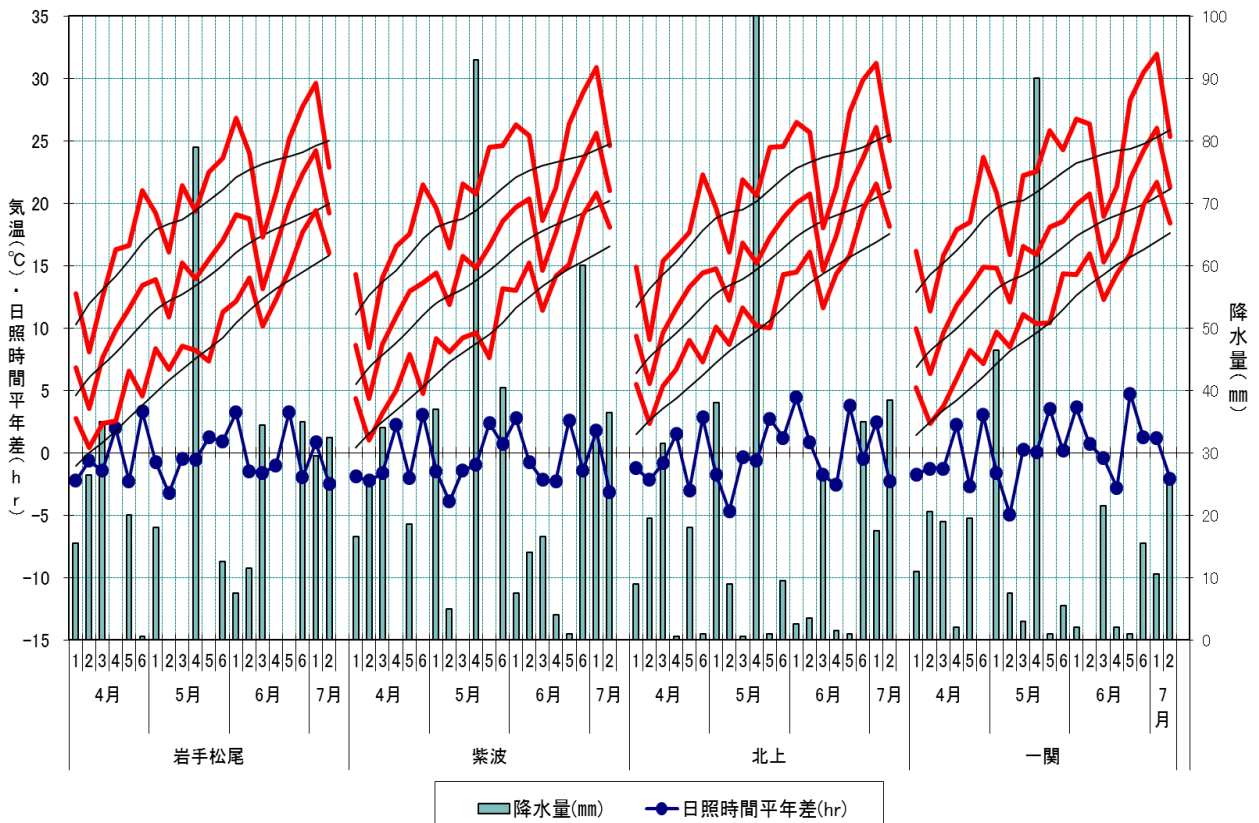
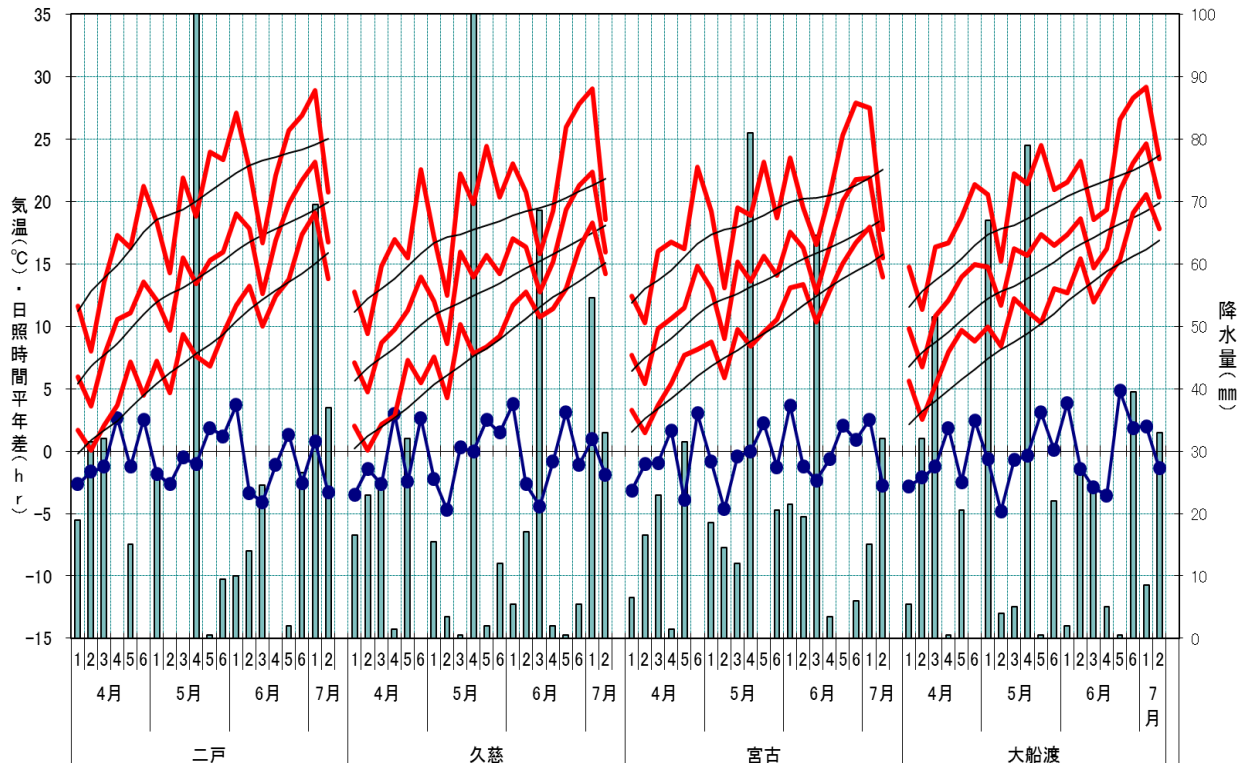


図1 各地の半旬別気象経過図（主なアメダス地点；4月第1半旬～7月第2半旬）

（参考）東北地方1か月予報（7月7日から8月6日までの天候見通し：7月5日発表）

[http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/102\\_00.html](http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/102_00.html)

東北地方3か月予報（7月から9月までの天候見通し：6月25日発表）

[http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/102\\_10.html](http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/102_10.html)